みんぱく公開講演会

「民族」再考

―日本と台湾から

2022年11月11日［金］

18時30分－20時40分（17時30分 開場）

場　所＝日経ホール（東京都千代田区大手町1－3－7日経ビル3F）

参加費＝無料（要事前申込み）

定　員＝300名（先着順）

※手話通訳あり

※本講演会は会場内での聴講のほか、WEBライブ中継（要事前申込み）でも参加いただけます。

※新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、開催の中止、形式の変更等となる場合もあります。

主催　国立民族学博物館 National Museum of Ethnology　日本経済新聞社

VEGETABLE OIL INK
リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

グローバル化の進行や大規模な人の移動とともに、人種差別、移民排斥、マイノリティ弾圧など、民族間の対立や分断が世界各地で先鋭化しています。日本も例外ではありません。自治体は多文化共生施策を推進していますが、外国人労働者問題や特定の民族へのヘイトスピーチ（憎悪表現）などはいぜんとして解決の方向に進んでおらず、むしろ深刻化しているようにさえみえます。そもそも「民族」とは何でしょうか。民族という概念はどのようにつくられたのでしょうか。家族や地域の共同体、国民国家の流動化によって、民族のかたちも変わるでしょうか。本講演会では、日本と台湾の事例を通して、これらの問題をあらためて考えてみたいと思います。

17：30–18：30 受付

18：30–18：35 開会挨拶　津川 悟（日本経済新聞社大阪本社 編集局長）

18：35–18：40 挨拶　吉田 憲司（国立民族学博物館 館長）

18：40–19：05 講演1　小熊 英二（慶應義塾大学総合政策学部 教授）
「日本における『民族』概念
その東アジアへの伝播とロシアとの比較を交えて」

19：05–19：30 講演2　齋藤 玲子（国立民族学博物館 准教授）
「多様なアイヌ民族とシサム（隣人としての和人）」

19：30–19：55 講演3　野林 厚志（国立民族学博物館 教授）
「民族のモザイク――台湾の経験」

19：55–20：10 休憩

20：10–20：40 ディスカッション
小熊 英二×齋藤 玲子×野林 厚志
司会　平井 京之介（国立民族学博物館　教授）

関連するプロジェクト

特別研究　「ポスト国民国家時代における民族」

講師

小熊 英二
慶應義塾大学総合政策学部 教授

■プロフィール
近現代日本の社会意識を多角的に研究。近年の成果に"Racial and Ethnic Identities in Japan," in M.Weiner(ed.) *Routledge Handbook of Race and Ethnicity in Asia*, pp. 271-285 (2021)、『日本社会のしくみ：雇用・教育・福祉の歴史社会学』（2019年、講談社）、『〈日本人〉の境界：沖縄・アイヌ・台湾・朝鮮植民地支配から復帰運動まで』（1998年、新曜社）など。

■講演要旨
日本における「民族」の概念は、西洋の「人種」とどのように異なるのか。それはどのような経緯で発生し、政治的に利用され、東アジアに伝播したのか。本講演はその概略を述べる。

齋藤 玲子
国立民族学博物館 准教授

■プロフィール
アイヌ民族をはじめ北方地域先住民族の物質文化を研究、とくに工芸や観光、コレクション史に関心を寄せる。編著に『カナダ先住民芸術の歴史的展開と現代的課題（国立民族学博物館調査報告131）』（2015年）、論文に「アイヌ工芸の200年」山崎・伊藤編『世界のなかのアイヌ・アート』（2012年、北海道大学アイヌ・先住民研究センター）など。

■講演要旨
アイヌ民族を先住民族と明記した「アイヌ施策推進法」（通称）が施行されて3年。法律制定に至るまでの動きを概観し、文化やアイデンティティ、共生について考える。

野林 厚志
国立民族学博物館 教授

■プロフィール
専門は人類学。主要な研究のテーマは台湾の民族と文化、人間と生き物との関係、文明のなかの食文化。最近は日本に所在する台湾資料をオンライン公開、活用し、「情報遺産」としての学術資料のありかたにも関心をもつ。著書・編著書に『タイワンイノシシを追う』（2014年、臨川書店）、『肉食行為の研究』（2018年、平凡社）など。

■講演要旨
かつて「高砂族」とよばれたオーストロネシア系先住民族の人々の歴史を紹介し、日本が時代をこえて台湾における民族の存在と向かい合っていく意義を考える。

申込方法

国立民族学博物館　クリック

国立民族学博物館のホームページ内にある
申込フォーム画面に従って必要事項をご入力ください。
https://www.minpaku.ac.jp/

令和4年10月6日（木）受付開始予定

※参加申込みされた方の個人情報は本講演会及び
次回以降の講演会案内でのみ使用いたします。

お問い合わせ先

国立民族学博物館　研究協力課
TEL 06-6878-8209

講演会場

●東京メトロ
- 千代田線「大手町駅」神田橋方面改札より徒歩約2分
- 丸ノ内線「大手町駅」サンケイ前交差点方面改札より徒歩約5分
- 半蔵門線「大手町駅」皇居方面改札より徒歩約5分
- 東西線「大手町駅」中央改札より徒歩約9分
「竹橋駅」4番出口より徒歩約2分

●都営地下鉄
- 三田線「大手町駅」大手町方面改札より徒歩約6分
地下鉄「大手町駅」下車C2b出口直結